

週刊

# 愛知民報

2021年  
12月12日  
第2566号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
愛知あかつき会館内  
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063  
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円  
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)  
1966年7月31日第三種郵便物認可



日本共産党  
憲法9条守りぬく

変える。等しく、生きやすく。

## すやま初美

参議院愛知  
党県ジェンダー平等委員会責任者

日本共産党の、すやま初美参院愛知選挙区予定候補の新しいポスターが好評です。「いますぐ貼りたい」「かっこいい。写真もだけど、コピーも素敵」という声が寄せられています。同党愛知県委員会は「議席を確保する本気度を示そう」と張り出しを呼びかけています。



### 宣伝キャラバンスタート

日本共産党愛知県委員会の「参院選必勝！第一次全県宣伝キャラバン」が3日にスタートしました。名古屋市名東区の一社駅前、すやま初美愛知選挙区予定候補が「改憲策動許さない」と訴えました。



総選挙では「ジェンダー問題に関心がある。共産党を応援したい」と連絡してきた学生が、街頭宣伝にも参加。さらに「学内でもジェンダーに関心のある人を広げたい」と投票日に加盟。早速、自分の大学で「ほこプロ」を開催し、今月の取り組みには友人を連れてくると意欲的に活動をはじめられています。

県代表者会議の全体発言では、仲間が増えたと来たことの確信が豊かに語られました。

## 民青を強く大きく

日本民主青年同盟  
愛知県委員長

古川大暁

民青をさらに強く大きくし参議院選挙での反転攻勢を目指して奮闘したいと思えます。

半年前に加盟した尾東地域の大学生は「民青に入って毎週学ぶ中で、日本の政治の問題があるのだとわかった。選挙に初めて取り組んで、社会を変えるために頑張る仲間がカッコいいと感じた。たくさんの方が選挙に行けば、社会はきっと変えられる」と発言。昭天緑地区と西三河地区の地域班は、仲間を増やし班会を定例化した努力を発言。共通して「仲間が増える」と、いろいろな角度から意見が出るようになって班会が楽しくなった」と仲間が増えて班が活性化し喜びを発言。来年の取り組みを頑張る決意みなぎる会議になりました。

## すやまポスター好評

### 参院議席確保へ「本気度」示す

日本共産党は11月27、28両日おこなわれた第4回中央委員会総会の決定で、世代的継承の取り組みを「緊急・死活の課題」として位置づけました。愛知県でも、総選挙に協力してくれた青年・学生、「現役世代・真ん中世代」の支持者が入党してきています。また、同党は民主青年同盟(民青)への援助を強め、若い世代の要求実現の運動に連帯する活動を強めています。この間の事例を紹介します。



### 若者宣伝各地で

民青愛知県委員会と青年サポーターは、毎週木曜日夜、名古屋駅東口名鉄前で対話宣伝に取り組んでいます。11月25日には、もとむら伸子衆院議員、山添拓参院議員、すやま初美参院愛知選挙区予定候補も参加しました。民青および共産党東三地区は土曜日夕方の豊橋駅前宣伝に取り組んでいます。



### 食料支援「助かる」

民青は、コロナ禍で過酷な状態に直面している学生を対象にした食料支援活動(写真)に取り組んでいます。日本共産党の支部・地区委員会・党員が積極的に協力しています。

食料支援の事前準備やカンパ集めにがんばってきた同盟員が「政権交代は当然。応援したい」と入党する事例も生まれています。

県同盟が昨年6月から取り組んでいる「ほこプロ(食料支援と生活相談)」は約30カ所で120回以上取り組み、学生を中心に5500人以上の人が利用しました。

県同盟は3年連続で100人を超える仲間を迎え、同盟員数も前進させてきました。組織を大きくしてきた結果、総選挙は17年比で2.5倍の支持拡大をやり遂げることが

半年前に加盟した尾東地域の大学生は「民青に入って毎週学ぶ中で、日本の政治の問題があるのだとわかった。選挙に初めて取り組んで、社会を変えるために頑張る仲間がカッコいいと感じた。たくさんの方が選挙に行けば、社会はきっと変えられる」と発言。昭天緑地区と西三河地区の地域班は、仲間を増やし班会を定例化した努力を発言。共通して「仲間が増える」と、いろいろな角度から意見が出るようになって班会が楽しくなった」と仲間が増えて班が活性化し喜びを発言。来年の取り組みを頑張る決意みなぎる会議になりました。

共産党

# 世代的継承で

# 未来開く